

## 6 - 19 中国・四国地方の上下変動

### Vertical Crustal Movements in the Chugoku and Shikoku Districts

国土地理院

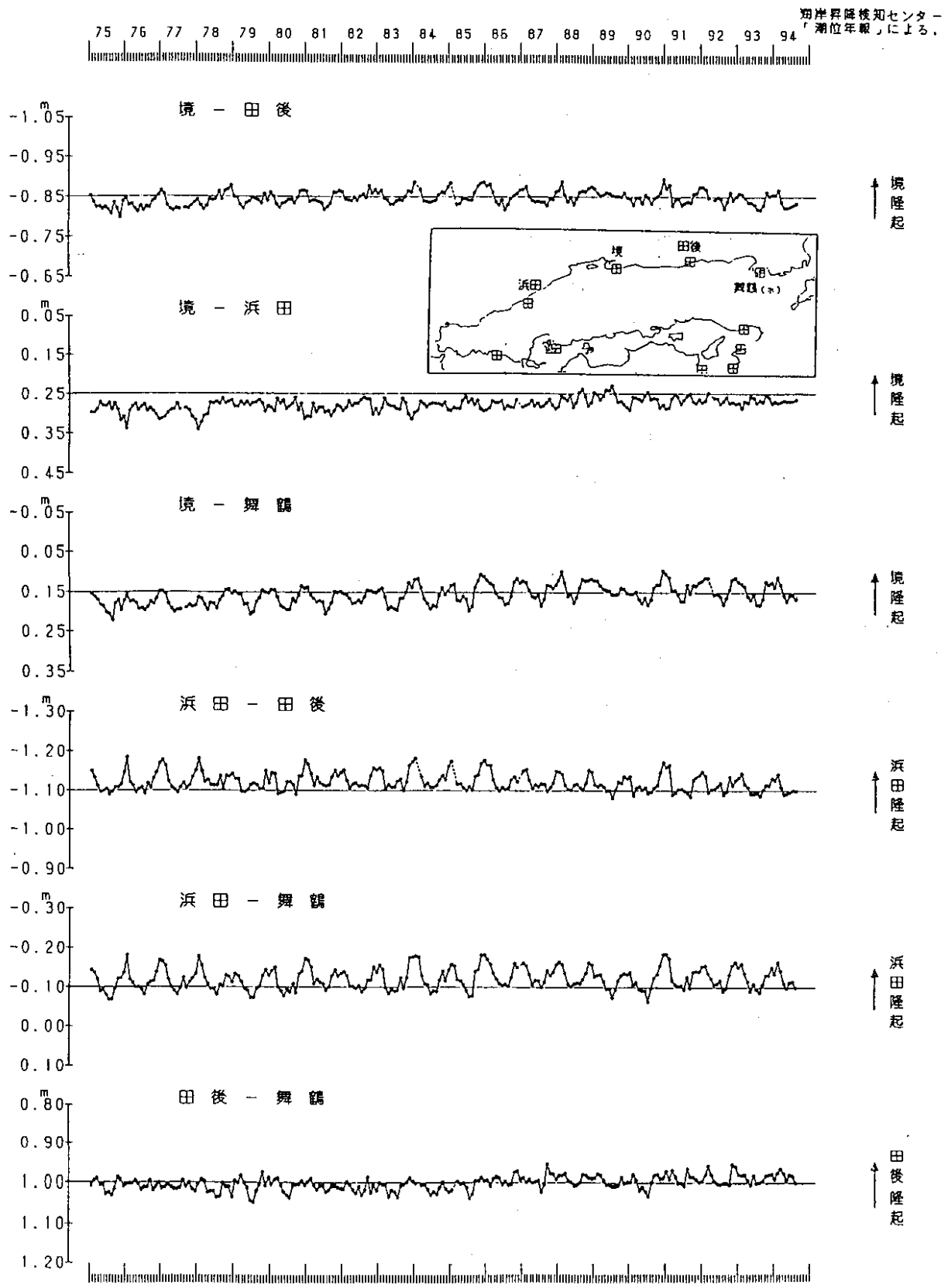
Geographical Survey Institute

第1図は、山陰地方各験潮場間の月平均潮位差である。境の長期的な隆起傾向が目立つ程度である。第2図は、瀬戸内西部の験潮場間の月平均潮位差である。1980年代前半からの松山に対する呉と徳山の沈降が以前として続いている。

第3図は、松山～川間の上下変動である。最近12年間では、佐川側が沈降に転じており、フィリピン海プレートと陸側プレートの結合状態が変わりつつあることを示唆するものかもしれない。第4図は、高知・松山各験潮場間の月平均潮位差である。1980年代前半に、高知が隆起から沈降に転じており、前述の水準測量結果と調和する。第5図は、四国地方各験潮場間の月平均潮位差である。室戸岬と比べると土佐清水の沈降が顕著ではなく、プレート結合状態の複雑さを示唆する。

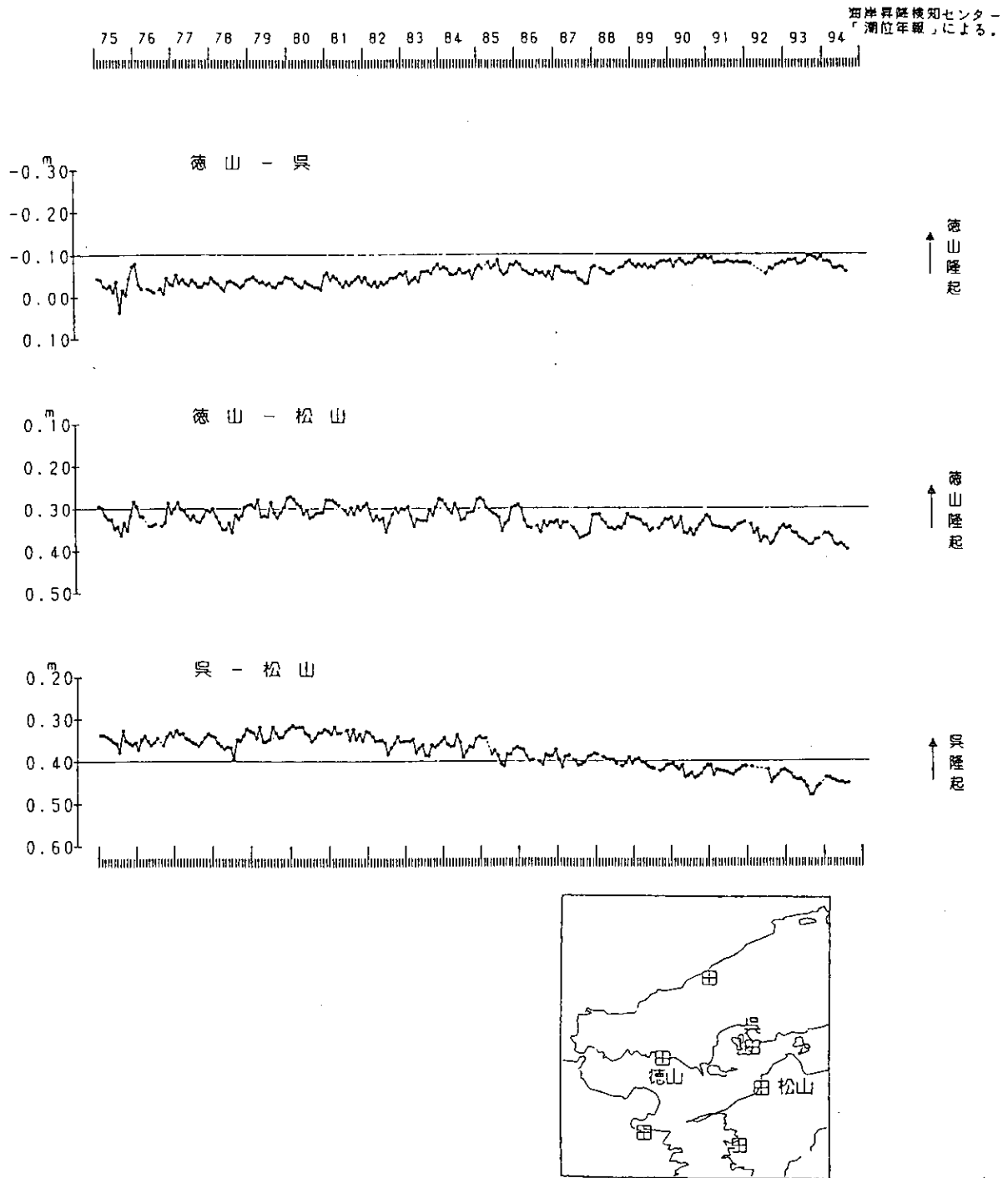
#### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：四国地方の上下変動，連絡会報，30（1983），336-342．
- 2) 国土地理院：中国・四国地方の地殻変動，連絡会報，51（1994），642-649．
- 3) 国土地理院：中国・四国地方の地殻変動，連絡会報，52（1994），499-508．



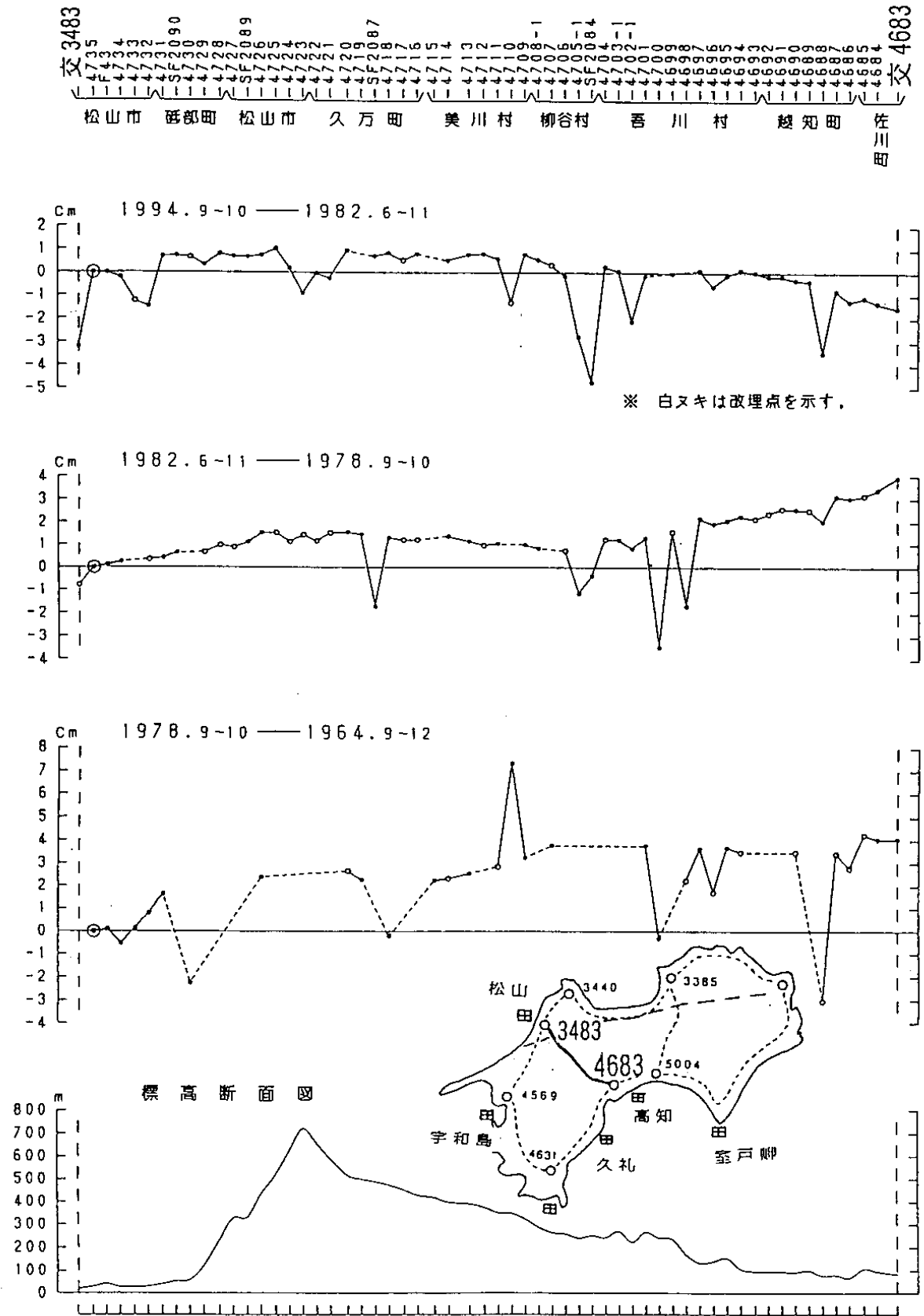
第1図 山陰地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 1 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the Sanin district.



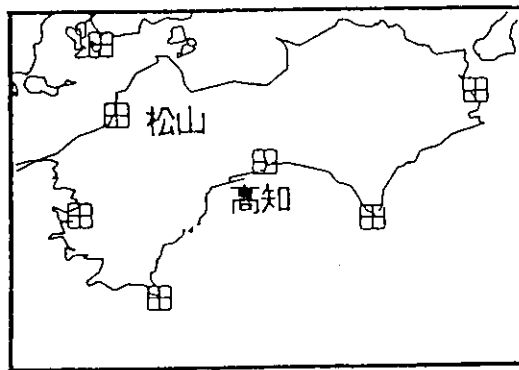
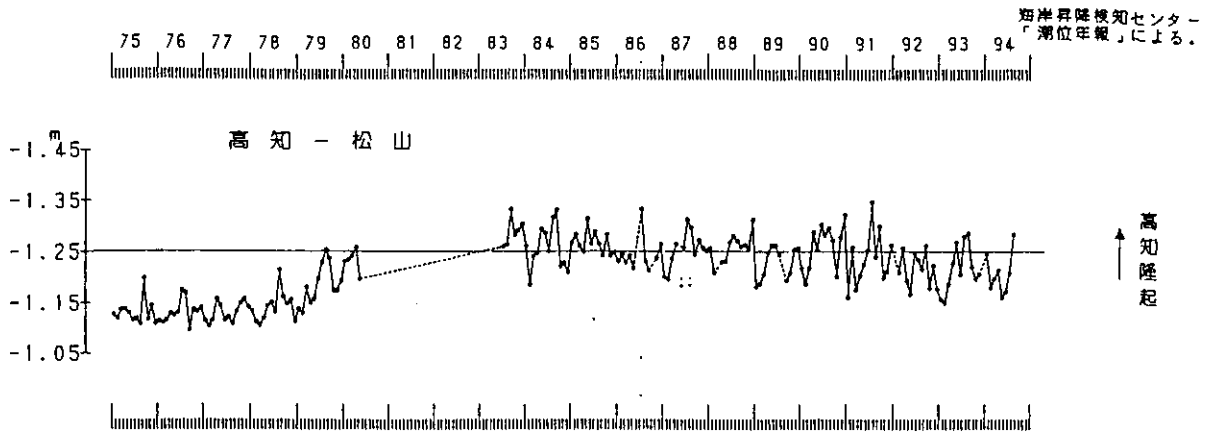
第 2 図 瀬戸内海西部地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 2 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the western Seto Inland Sea region.



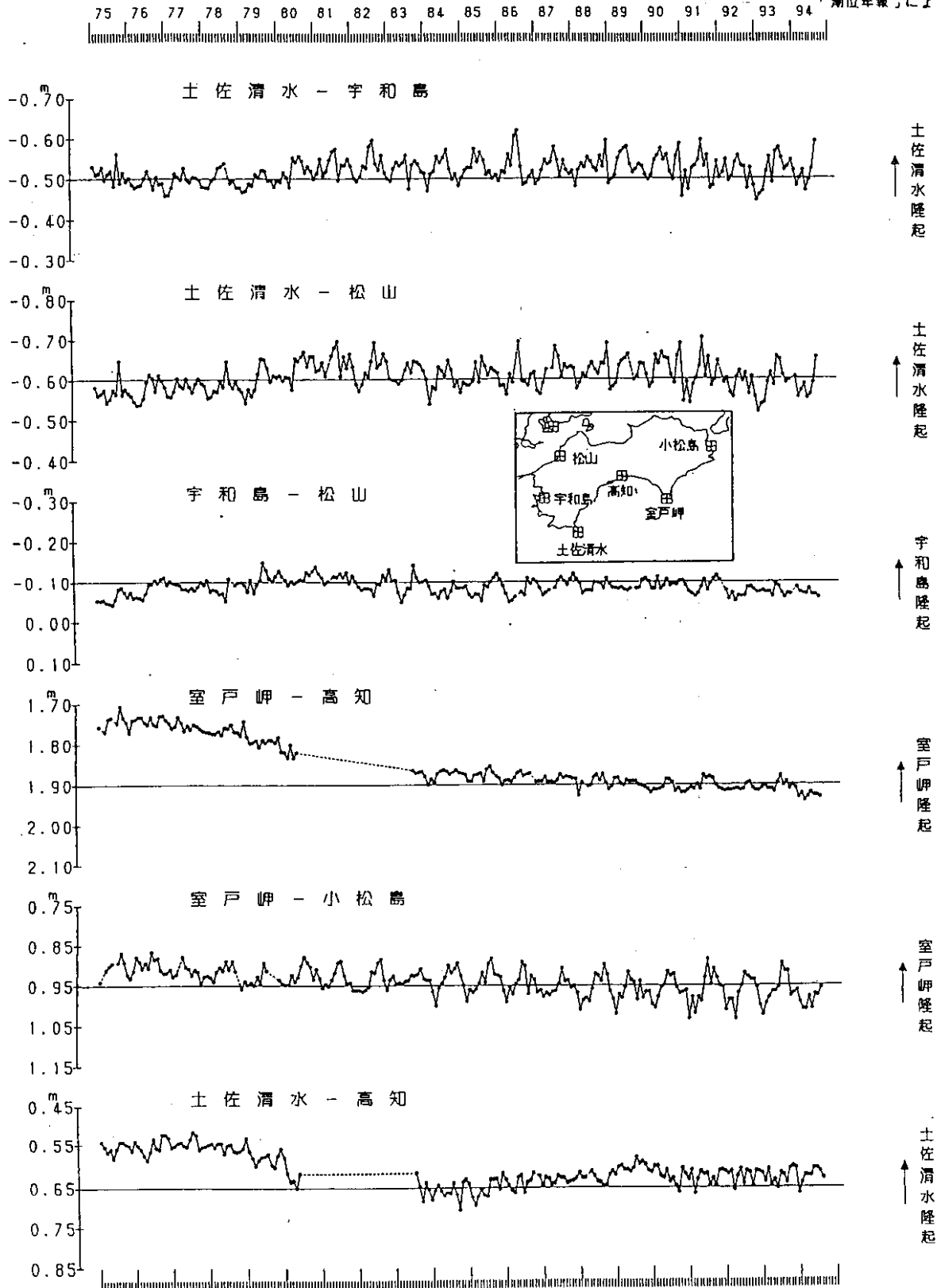
第3図 松山～佐川間の上下変動

Fig. 3 Vertical movements along the route from Matsuyama to Sagawa.



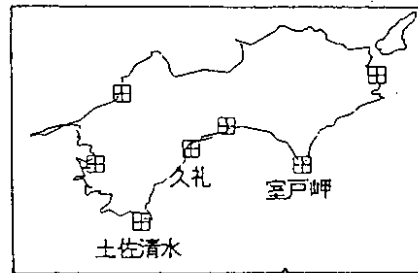
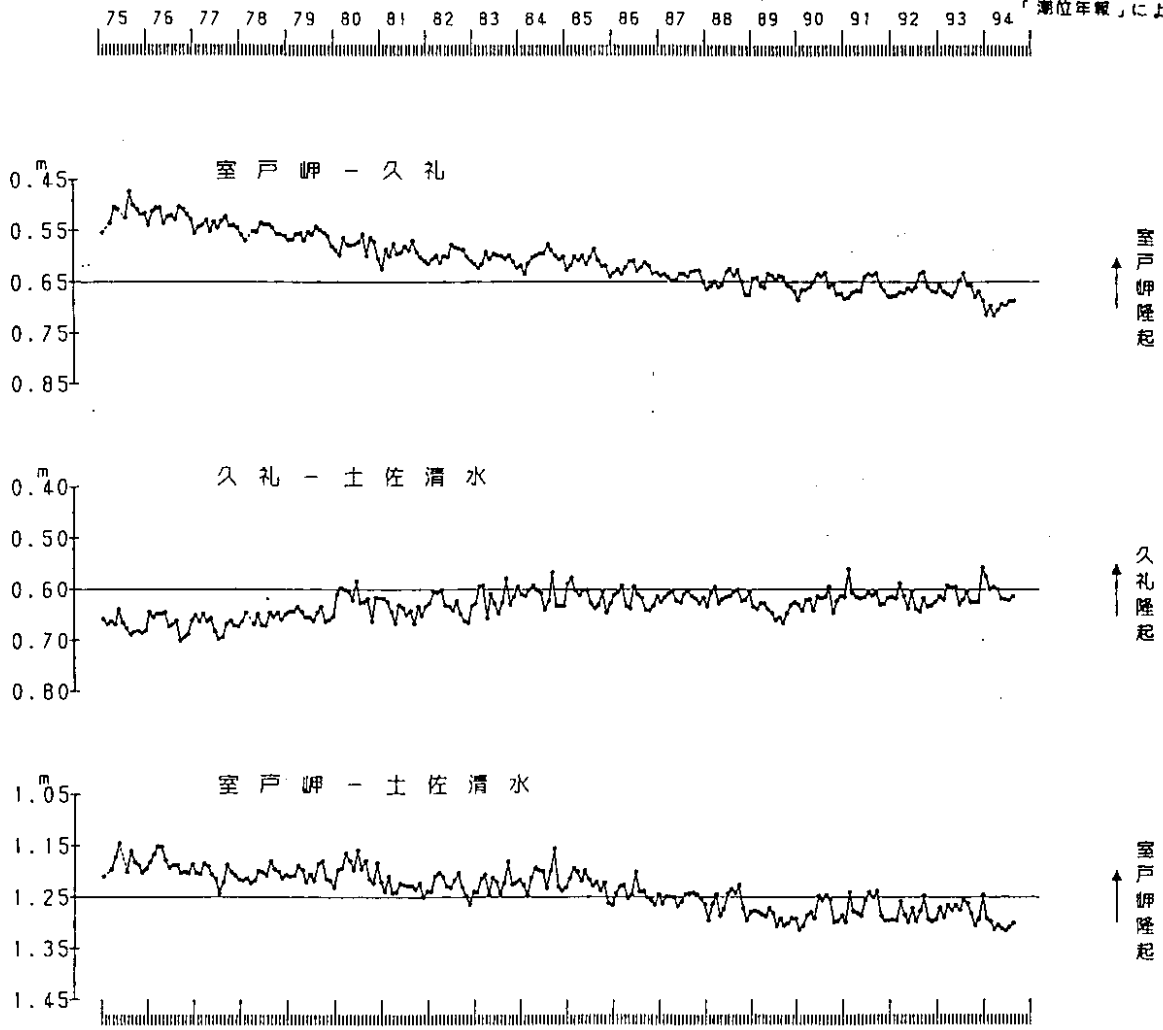
第4図 高知・松山験潮場間の月平均潮位差

Fig. 4 Difference in monthly mean sea levels between the Kochi and Matsuyama tide stations.



第5図 四国地方各験潮場間の月平均潮位差

Fig. 5 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the Shikoku district.



第5図 つづき  
Fig. 5 (Continued)